

## 平成30年度第1回鳴門市総合計画審議会 議事概要

日時：平成30年9月6日（木） 午後3時00分から5時00分まで

場所：うずしお会館2階 第1会議室

出席者：(審議会委員22名)

秋山委員、井瀨委員、小川委員、勘川委員、齋藤委員、笹委員、曾良委員、多智花委員、中岸委員、戸田委員、長野委員、林委員、平野委員、平松委員、福山委員、藤村委員、益岡委員、松本委員、村澤委員、矢野委員、山下委員、吉田委員

(鳴門市関係者18名)

泉市長、谷副市長、安田教育長、山内企業局長、三木政策監、来島事業推進監兼企画総務部長、廣瀬市民環境部長、天満健康福祉部長、氏橋経済建設部長、満壽消防長、三居企業局次長、大林教育次長、荒川議会事務局長  
事務局5人

傍聴者：なし

### 会議次第

- 1 開会
- 2 市長挨拶
- 3 委員紹介
- 4 会長及び副会長の選任
- 5 議事
  - (1) 総合計画実施計画（平成29年度実績）について
  - (2) 平成30年度行政評価について
  - (3) 総合計画実施計画（H30-H32）について
- 6 閉会

### 会議資料一覧

- 【資料①】 第六次総合計画実施計画 平成29年度実績まとめ
- 【資料①-1】 掲載事業一覧表（施策体系順）
- 【資料①-2】 掲載事業一覧表（進捗状況別）
- 【資料①-3】 掲載事業一覧表（組織機構順）
- 【資料②】 平成30年度行政評価の実施について
- 【資料③】 平成30年度行政評価結果一覧表・事務事業評価シート
- 【資料④】 総合計画実施計画（H30-H32）
- 【資料④-1】 掲載事業一覧表（施策体系順）
- 【資料④-2】 掲載事業一覧表（組織機構順）

【資料⑤】 鳴門市総合計画審議会委員名簿

【資料⑥】 鳴門市附属機関設置条例

【資料⑦】 総合計画策定に関する要綱

#### 会議経過

- 1 開会后、市長挨拶。
- 2 各委員及び市出席者を司会より紹介。
- 3 委員の互選により、会長に山下委員を、副会長に秋山委員及び多智花委員を選任。
- 4 会長である山下委員より挨拶。
- 5 議事（１）について、事務局より資料①の説明を行った。
- 6 議事（２）について、事務局より資料②の説明を行った。
- 7 議事（３）について、事務局より資料④の説明を行った。
- 8 副市長より挨拶の後、閉会。

主な質疑等、議事の概要は以下のとおり。

#### ◆議事（１）総合計画実施計画（平成２９年度実績）について

※資料①に基づき、総合計画実施計画（平成２９年度実績）の内容について事務局から説明。

#### 山下会長

実施計画実績の進捗状況について未達成の事業があるが、未達成のなかで、特に課題が多い事業、また達成された事業のなかで鳴門市にとって魅力的で効果のあった事業をそれぞれで挙げていただきたい。

#### 事務局

完了した事業のなかで、『学校給食のセンター化事業』や『小学校空調設備整備事業』などについては、安定的な給食の供給、教育現場の改善、また事業費からみても、効果のあった事業ではないかと、事務局としては感じている。

また、未達成の事業については例えば『ASAトライアングルを結ぶサイクリングツーリズム推進事業』がある。自転車輸送やサイクリングマップの作成など多様な取り組みを行っているが、成果指標との関係で、未達成となっている。

#### 委員

『健康福祉交流センター管理事業』について、完了している事業ではありますが、健康福祉交流センター３階の老朽化が少し目立ってきている部分もある。このような部分については、修繕等の予定はないのか。

天満健康福祉部長

『健康福祉交流センター管理事業』については建物の耐震化を主な目的として進めてきた。健康福祉交流センターの維持管理をしていくにあたって委員ご指摘の老朽の部分についても、適宜確認しながら修繕等対応を検討していきたい。

委員

本審議会の意味について確認したい。事業費と事業内容が乖離しているような事業があるようにも感じる。しかし、資料の記載のみでは、事業の詳細の把握は難しい。

本審議会の委員はどこまでの範囲をチェックする必要があるのか、またチェックしなければならないのか。個々の事業費についてどのように使われたのか、ひとつひとつ確認していくのか。

委員はP D C Aのサイクルのどこに位置づけられるのか。

事務局

市勢の根幹をなす総合計画に位置づけられた各事業を進めていく上で、P D C Aのサイクルをまわしていく必要がある。本審議会の目的は計画の策定においてはP（プラン）であり、それ以外の年度においてはC（チェック）の機能に主眼を置いてご議論いただきたい。

委員

例えば資料の記載だけでは『救急医療対策事業』や『地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業）』にかかる事業費が何に使われたのか、計画どおりといわれても納得しかねる。チェックの機能であれば、詳細については担当課まで確認しに行く必要があるのか。

山下会長

この場で答えられる範囲で結構なので、事業の概要をお願いします。

天満健康福祉部長

『救急医療対策事業』については夜間休日当番医制度や二次救急制度の維持、小児救急ハンドブックの増刷等を行った。また『地域支援事業』については介護予防訪問介護・通所介護相当サービス等様々な種類の訪問型・通所型のサービスを行っている。

## ◆議事（２）平成３０年度行政評価について

※資料②に基づき、平成３０年度行政評価について事務局から説明。

委員

行政評価について、自己評価という説明だが、事業を行ってきたものが、その事業を評価するのか。

事務局

行政評価については、内部評価、外部評価がありますが、本議題の行政評価は内部評価ということとなっている。

委員

事業計画を立てた者、そして事業を実施した者が評価をするということであれば、評価が甘くなるのではないか。

評価の方法を変えれば、また違った評価結果になるのではないか。

事務局

自己評価については一定の意義はある。併せて外部からの評価も重要であるため、そのひとつとして、本審議会に諮らせていただいていることをご理解いただきたい。

委員

この評価をした者がまた次年度の事業計画を立てるというのは、適正な評価ができないのではないかとやはり思う。

事務局

自らの振り返り、外部からの指摘等を踏まえて、職員として次にどう繋げていくかということが重要である。

委員

まずは市役所の中で、きちんと機能する評価システムがあればいいと思う。やり方の工夫検討していただきたい。

委員

総合計画実施計画の進捗状況と行政評価の総合評価にずれがあるように思うがなぜか。

事務局

総合計画実施計画の進捗状況と行政評価の指標の違いがある。総合計画実施計画は、

目標を立ててそれがどこまで達成できたか進捗の状況を評価するのに対して、行政評価においては、その事業が効率的・効果的にできたか等も含めて総合的に評価を行うものである。このような尺度に違いがあるということをご理解いただきたい。

委員

進捗状況が『未達成』で評価がBの事業もあるが、これはどういうことか。

事務局

目標件数に達していないため、総合計画実施計画では『未達成』になっているが、事務のやり方、進め方に問題があったわけではないので、行政評価の総合評価はBとなっている。

山下会長

1週間前に資料が届いて、各事業のチェックを行うといってもなかなか難しいところではある。

委員

『がん検診事業』について、徳島県は受診率が非常に低いといわれている。進捗状況『未達成』となっている事業ですが、鳴門市の受診率はどのぐらいか。

天満健康福祉部長

鳴門市においてもがん検診受診率については低い水準で推移しており、受診のための意識向上の取り組みを進めているところである。しかしながら、目標の数値には届いていないため、総合計画実施計画上は『未達成』ですが、事業自体の取り組み、効果は、有効であるため、受診率を上げていくため努力している状況である。

委員

受診する人の意識が低い人が多いような気がする。何か、インパクトのあるような広報活動が必要ではないかと思う。

天満健康福祉部長

受診率の傾向を調べると毎年受診する人は一定数いる。ただ、一回受けたから、しばらくは受けないとか、健康なので受ける必要がないと考えられている方もいる。このような方たちに対して、受診を促すような様々な取り組みを行っている。

今後も継続して周知広報を行っていく。

### ◆議事（３）総合計画実施計画（H30－H32）について

※資料④に基づき、総合計画実施計画（H30－H32）について事務局から説明。

山下会長

総合計画実施計画（H30－H32）に掲げられている全146事業のなかで特に重要性の高い事業はあるか。

事務局

昨年度と比べて事業費は11億円増加している、完了した事業もあるが、災害にまけないまちづくりという観点から様々な施設の耐震化を進めていることや『ふるさと納税寄付金』推進事業にかかる事業費が増加している、ということが特徴である。

来島事業推進監兼企画総務部長

『市役所本庁舎整備事業』がある。昨年度計画を策定し、新庁舎整備に向けて進めている。特に災害に負けないまちづくりという観点から、新庁舎についても、地震に強い庁舎となるよう整備を進めていく。

委員

『ドイツ村公園の整備事業』について、ドイツ村公園を訪れる人は相当数いるが、公園付近にトイレが少ない。周辺にはドイツ館等もあるが、やはり少ないと感じる。新庁舎整備に関しても、トイレの数は十分に設置してほしい、特に女性用トイレは男性用に比べて多く確保していただくようお願いしたい。

氏橋経済建設部長

ドイツ村公園のトイレについてはドイツ村を史跡指定するという関係もあり、トイレを新設することが難しいという状況がある。仮設トイレの検討もしたが、衛生面やランニングコストの問題等もあり、難しいという状況である。

山下会長

話はそれるが、学生が大学を選ぶ際のひとつの理由にトイレがある。それほど、重要な要素のひとつであるため、ぜひ整備の検討を進めていただきたい。

来島事業推進監兼企画総務部長

新庁舎のトイレ整備について、まさにこれから計画を立ててどのように整備していくかを検討するので、ユニバーサルデザインに配慮したトイレや、多目的トイレのような整備の検討も行っていきたい。

委員

災害に負けないまちづくりを目指すうえで、避難場所の整備を行ってほしい。大麻町東馬詰では、指定された避難場所に行くのに津波が来る方向に向かって避難しなければならない。また、避難場所に行くまでにも40分程度かかる。高齢者等は避難するのが難しい。このような状況であるので、ぜひ新たな避難場所の整備を行っていただきたい。

来島事業推進監兼企画総務部長

避難場所の整備については、地域の実情や、財政状況等を確認しながら検討していきたいと考えているのでご理解いただきたい。

委員

大きな災害が起きて車が使えなくなった場合に鳴門市では川に船舶が停泊しているので、被災者を救出したり、避難するのに使えるのではないかと思う。

そのような場合に邪魔にならないように使われていないような船舶が無いように、備えていただきたい。

氏橋経済建設部長

市としても、不法係留している船舶については、所有者を調べて、通知等を行ない、撤去してもらうよう計画し進めているところである。

委員

『新生児聴覚検査助成事業』がありますが、聴覚障がいというのは、ある程度の年齢にならないとわからないのではないかと思うが、新生児とはどこまでの年齢を対象としているのか。

天満健康福祉部長

この事業については、早期に聴覚障がいの発見につながれば、それだけ、早期に効果的な対応が行えることから、早期の新生児を対象にしている。

委員

新生児から継続して検査を行うことができるのか。

天満健康福祉部長

新生児のときに聴覚スクリーニング検査を実施し、障がいが無ければ、そこで終了する。障がいが見つかったときにその後の対応につなげていくという事業となっている。

委員

ハザードマップについてですが、このたびの北海道の地震において液状化が問題となっている、鳴門も埋立地が多く、地震が起きたときに液状化がおきる心配はある。そのあたりを考慮し、ハザードマップに落とし込むということを検討されてはいかがか。

来島事業推進監兼企画総務部長

国や県とも相談しながら、必要性等を検討していきたい。

委員

『移住交流支援事業』について、農家として移住して来たいという人に対する支援はあるのか。農家として移住しても、最初のうちは収入が無い。また、空き家に住むとしても、修繕費にお金がかかる。このように移住して来てくれる人はありがたいと思うが、市の方でそういう方たちへの連携した支援のようなものはあるのか。

氏橋経済建設部長

市としては空き家バンクの運用を行っている。登録数が伸び悩んでいるという現状ではあるが、登録していただくと、その空き家に住んでいただくための修繕費の助成を受けることができるので、活用いただきたい。

新規就農についても国の制度ではあるが、支援制度はある。

委員

鳴門市としての新規就農者への支援制度はあるのか。

氏橋経済建設部長

新規就農者をサポートする制度としては現状では国の制度のみとなっている。

委員

農地は農地、空き家は空き家という支援制度ではなくトータルで支援していくような仕組みの構築を検討していただきたい。

委員

斎田公民館の耐震化が完了した。あそこは避難場所にも指定されていると思うが、物資の備蓄等の状況はどのようになっているのか。

事務局

優先順位をつけて、学校や公民館等に順次物資の備蓄を行っている状況である。

委員

『中心市街地活性化推進事業』について様々な事業を行っていると思うが、今後新たな取り組み・事業等があれば教えていただきたい。

氏橋経済建設部長

『中心市街地活性化推進事業』については、100円商店街や、クリスマスマーケット等の取り組みを行っているが、これらの事業は継続し、新たな取り組みについても、商店街等と相談させていただきながら、取り組んでいきたいと考えている。

委員

ひとつの案ではあるが、ハロウィンの時期に、商店街のある店舗では、仮装をして、鳴門を盛り上げようという活動をしているので、そのような取り組みも一考いただきたい。

委員

県外の人が鳴門市を訪れる際、行かれる場所として総合運動公園があると思うが、公園内の雑草が生い茂っており、景観がよくない。

氏橋経済建設部長

公園内の草刈、剪定等については、予算の範囲内で、優先順位、回数等を決めて行っている。総合運動公園については、年2回行っていると把握している。

山下会長

P D C Aの評価システムについては、民間企業の例ではあるが、評価制度の指標に縛られすぎて失敗したという例がある。重要なことは、評価をもとに話合うことである。本審議会のように委員と市とが議論し、何らかのアクションにつなげていくことが重要である。

【閉会あいさつ】

————— 閉会 —————